



概要

設立年月 昭和51年

会長 後藤新一 (ごとうしんいち)

楽長 佐藤日出夫 (さとうひでお)

会員数 16名

所在地 阿蘇郡波野村波野1502-4(郷土芸能伝承館)

主な活動地 波野村及び県内各地

波野村は、九州のほぼ中央に位置し、恵まれた自然と豊かな農村文化が残っている。中でも神楽は、野趣あふれる民俗芸能として古くから伝えられており、横堀地区の岩戸神楽も今から約八十年前の江戸中期頃から伝承されていた。しかし、戦後一時期、後継者不足等から衰退し、神楽が中断するに至るが、昭和五十一年、地元横堀地区の有志により再興が果たされる。現在は、五方礼始から大神までの深山流大神楽十二番の保存継承を行っている。横堀岩戸神楽保存会は、地元で根ざした活動を心がけており、横堀地区の秋祭りや村内各地の祭り、行事等に積極的に出演する。また、県内外から出演依頼も多く、遠くは愛知県、島根県をはじめ、近くは福岡県、大分県等、その公演回数は地元でのものを含め、わせると年間約四十回を数える。昨年十月には、「国民文化祭・おおいた」の民俗芸能祭神楽フェスティバルに出演、力強い舞を披露して観衆に大きな感動を与えた。

「神楽舞うすずらの里」をキャッチフレーズにしている波野村は、毎年十月に神楽フェスティバルを主催するなど、民俗芸能を通して地域の活性化に取り組んでいるが、横堀岩戸神楽保存会は、同村の中江岩戸神楽と並びその中心的存在と言える。

これまでの活動歴

- ・ 昭和五十一年 横堀岩戸神楽を再興。
- ・ 昭和五十三年 同 神楽が波野村無形文化財に指定される。
- ・ 同 年 熊本真ふるさと顕彰を受賞
- ・ 昭和六十二年十一月 米まつり熊本神楽公演
- ・ 同 年 熊本真民俗芸能大会出演
- ・ 平成四年 一月 阿蘇の火祭り宣伝隊として名古屋市にて公演
- ・ 平成五年 十月 火の国祭りに出演（熊本城）
- ・ 平成六年 十月 阿蘇の火祭り郷土芸能祭において公演（阿蘇町）
- ・ 平成七年 二月 仙酔峡つじ祭り宣伝隊として福岡市において公演
- ・ 平成八年 三月 島根県金城町において神楽を通しての交流会を行う。
- ・ 平成十年 七月 清正公の二十三回祭りに出演(大分市鶴崎)
- ・ 平成十年 十月 「国民文化祭・おおいた」の民俗芸能祭神楽フェスティバルに出演（大分県庄内町）